「おっぱい絵馬」奉納

九度山町・慈尊院に

Kinga Breast Center KBC

THE YOMIURI SHIMBUN
讀賣新聞
2011年(平成23年) 10月29日 土曜日

ジャンボ絵馬を制作した医師や看護師ら（橋本市岸上で）

おっぱい絵馬 奉納 乳がん撲滅!!医師ら制作

乳がんの撲滅を願い、橋本市岸上の紀和病院のスタッフや通院する乳がん患者らが乳房をかたどったジャンボ絵馬を作り、29日に「おっぱい寺」の愛称がある九度山町の慈尊院に奉納する。

2009年度の橋本市の乳がん検診の受診率は17・7％と県平均（27・9％）を大幅に下回る。このため、紀和病院の乳がん専門診療科「紀和ブレスト（乳腺）センター」が、市民に検診の大切さを知ってもらおうと10月の「乳がん月間」に合わせてジャンボ絵馬の奉納を企画した。

医師や看護師のほか、乳がん患者会「ひだまり」のメンバーら計約10人が2週間かけて、綿をデニム生地で包んで直径約22㌢の二つの乳房を形作り、縦73㌢、幅90㌢の大きな絵馬にあしらって「祈願 乳癌平癒」の文字を添えた。

完成した絵馬は、弘法大師・空海の母が住んだとされ、多くの女性が妊娠や安産を祈願して乳房形の絵馬を奉納している慈尊院に奉納する。同センター長の梅村定司医師(45)は「乳がんで苦しむ人たちが元気になるようにという思いを絵馬に込めました」と話している。

◇…弘法大師・空海の母が眠るとされる寺院「慈尊院」（和歌山県九度山町）に29日、特大の「おっぱい絵馬」が奉納された＝写真。

◇…近くにある紀和病院ブレスト（乳腺）センターの看護師や乳がん患者の会らが、特製絵馬を手作りし、10月の「乳がん月間」に合わせ奉納した。

◇…特大絵馬は縦73㌢、横90㌢。中央に直径約22㌢の立体的なおっぱいが並び、乳がんの早期検診も促す。病院スタッフは「検診の大切さを知ってほしい」。

産経新聞
平成23年(2011)10月24747号
10 30 [日]
産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

特大おっぱい絵馬を奉納したブレストセンター員や患者ら＝九度山町の慈尊院で

「おっぱい絵馬」奉納

紀和病院の患者会員ら 乳がん撲滅願い

慈尊院に

MAINICHI 毎日新聞
11月3日(木)

橋本市の紀和病院「紀和ブレスト（乳腺）センター」（梅村定司センター長）と同センターの患者会「ひだまり」の会員らが10月29日、大きな乳房形を付けた「おっぱい絵馬」を女人高野で知られる九度山町の慈尊院（安念清邦住職）に奉納した。有吉佐和子の小説「紀ノ川」の冒頭にも安産や授乳の寺として登場し毎年、約30対の乳房形が奉納されるという。

同センターは、乳腺専門医やスタッフをそろえた乳腺疾患専門施設として09年9月に開設。乳がん検診から診断、治療、症状緩和など患者に寄り添い、ともに闘う医療を実践している。乳がんは、早期に発見すれば90㌫以上が治るとされるが、ピンクリボン運動に取り組む橋本市や九度山町、かつらぎ町は受診率が県内平均を大幅に下回り、最低レベル。「病気平癒を願うとともに、乳がんをもっと身近に感じてもらおう」と絵馬を奉納した。

絵馬は横90㌢、縦73㌢。綿をソフトデニム生地でくるんだ直径22㌢の乳房形1対は仕事が終わった後、看護師や会員らが作った。患者らは「私たちが思いを込めたこのおっぱいから力をもらうとともに、私たちのように苦しまないよう早期に検診を受けてほしい」と話した。【上鶴弘志】

日刊スポーツ 2011年(平成23年)10月30日 日曜日

世界遺産の慈尊院に奉納された特大の「おっぱい絵馬」

ビッグサイズおっぱい絵馬

和歌山・慈尊院

乳がん月間に奉納

霊場高野山の麓、和歌山県九度山町の慈尊院に29日、特大の「おっぱい絵馬」が奉納された。世界遺産の慈尊院は、弘法大師・空海の母が眠る寺。「女人高野」とも言われ、多くの女性が安産や良縁を祈願し、乳房形の絵馬を奉納している。最近では乳がんの患者が多く参拝することから、同院近くにある紀和病院ブレスト（乳腺）センターの看護師や乳がん患者の会らが、乳がん撲滅と病気平癒を祈願する特製絵馬を手作りし、10月の「乳がん月間」に合わせ奉納した。特大絵馬は縦73㌢、横90㌢。中央に直径約22㌢の立体的なおっぱいが並び、乳がんの早期検診も促している。

2011, 10, 29